

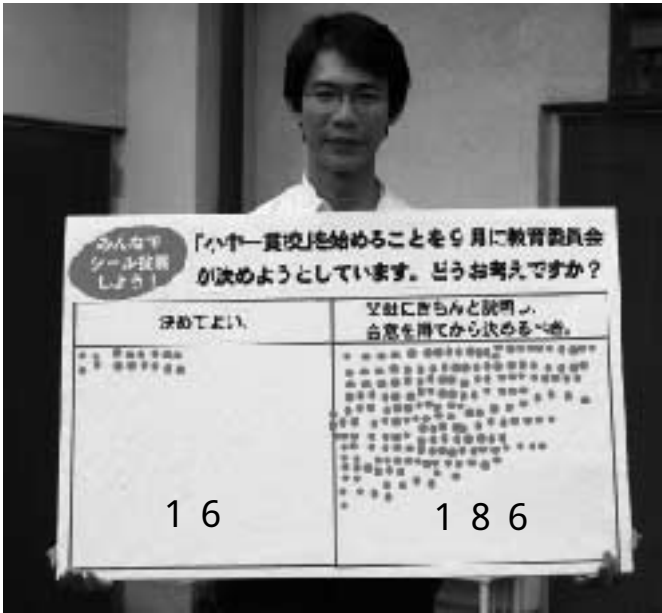
小中一貫 教育校

父母の声、先生の実感生かして十分な 検討を

意見を聞かずに実施決定、先生を押しつぶす動きは方向転換を

来年度から武蔵野小・3中ではじめることとなっていた小中一貫教育校。5月22日の検討委員会や6月議会での質問で、検討の到達点が明らかになりました。

そこに透けて見えるのは、父母の意見を十分に聞かずに、現場の先生の声を押さえつけて、「何が何でも実施」でつきすすむ姿勢です。



保護者の声は、「十分な説明と合意を」

5月31日におこなわれた武蔵野小学校の運動会の際に、日本共産党の鈴木たくや議員は、シール投票をおこないました。設問と結果は写真の通りで、多くの保護者が「父母への

十分な説明と合意」をもとめるものとなりました。

鈴木たくや議員にたいしては多くの保護者から「いったいどんな風になるの？」「何のためにやるの？」と質問が生まれ、計画の内容の理解が進んでいないことが伺えました。

検討委員会では、

「決定してから父母へ説明」
「先生は僕の方針で動かざるをえない」

ところが、5月22日の検討委員会では、小中一貫校の実施の決定を9月に教育委員会がおこない、保護者への説明は決定後、来年1月以降におこなうというスケジュールが提案されていました。

5/22検討委員会に示されたスケジュール案

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
30日	14日	27日	27日	?日	18日	?日	?日	?日	?日	武蔵野小3中プレ開校
検討委員会	検討委員会	ゆとりぎ講演会	検討委員会	最終報告答申	教育委員会で決定	3 中学区説明会	2 中学区説明会	1 中学区説明会		

↑
実施を決定してから説明？

また、教員の多くは小中一貫校に疑問を持っていますが（右アンケートを参照）、武蔵野小校長は「僕の経営方針で先生方は動かざるをえない」と、その疑問にこたえないまま

押しきる考えを述べていました。

保護者の意見を聞かずに、また、子どもたちのことが一番よくわかっている現場の先生の意見を押しさえつけて強引に小中一貫校にしても、果たして、教育が良くなるのでしょうか？

羽村市内の教職員アンケート (08年7月実施-貫校対策会)

小中一貫校にすると不登校が減る？

とても・少し思う 4%

あまり・全く思わない 85%

学力が向上する？

とても・少し思う 11%

あまり・全く思わない 79%

学校(子どもや先生の)の多忙化がすすむ？

とても・少し思う 87%

あまり・全く思わない 7%

小中一貫校を是非実施すべき？

とても・少し思う 4%

あまり・全く思わない 83%

武蔵野小校長の5/22検討委員会での発言

「...ここから本格的に先生方に、...ここまでに、何をしなきゃいけないという事ははっきり我々は言えるようになる。...で、僕の経営方針で先生達は動かざるをえなくて(笑)。...『もうやらなきゃいけないんだから』っていうのは、皆さんそういう風に言うんじゃないんですか。」